

トヨタ記念病院 患者支援センター室長 篠田 憲幸

がんのピアサポート「楽(らっく)みかわ」活動 10 周年をお迎えされましたこと、心からお祝い申し上げます。代表の川田様におかれましては当院のがんサロンにも中心的な存在としてご参加いただいております。患者様へのピアサポートのみならず、がん相談支援センターへの情報のご提供、また、コロナ禍においては当院関連施設へのマスクのご寄付など様々なご支援をいただいております、心より感謝申し上げます。これからも地域のピアサポート活動の中核として患者様を支えていただき、「楽(らっく)みかわ」のますますのご発展とご活躍を心より祈念致しております。この度は誠にありがとうございます。

JA 愛知厚生連 豊田厚生病院 医療福祉相談課 (がん相談支援センター) 課長 杉村 龍也

“がんのピアサポート 楽みかわ”の開設から 10 周年を迎えられたこと、本当におめでとうございます。病気を抱えながら長きにわたって続けられてきたのは、代表の川田さんをはじめ、皆様のご活躍や熱意が実を結んできた結果だと思えます。同じようにがん患者の支援をさせていただく立場として、楽みかわの発展をととても嬉しく思っています。当院では平成 18 年にがん対策基本法が制定されたのを受けて、平成 19 年に「がん相談支援センター」を開設しました。開設当時には、がんを主体とした患者会や患者支援団体が身近には無く、がん患者が当事者としての悩みや不安を共有できる場所は無かったと記憶しています。平成 22 年から、患者同士の交流を目的として“がんサロン煌(きらめき)”を院内で定期開催するようになり、患者さまの日常生活の中での声をよく伺うようになりました。その中でピアサポートの持つ大きな意味を実感するようになりました。がん検診による早期発見、医学の発展に伴う新しい治療方法や薬剤の導入など、がん治療は国が示すように『がんとの共生』の時代に入ってきています。しかしながら、治療過程の中では、まだまだ苦痛や不安と向き合う時間も長く、がんに罹患したことで社会や家庭内での役割変化に悩まれている方が多いと思えます。治療を進めていくのに、がん患者の気持ちのスピードに合わせて伴走することができるのが望ましいのですが、医療者は医学的判断をもとに患者さまと関わるのでなかなか伴走しきれない部分があるのが実情です。このような中で、当事者の立場で悩みが聴けるピアサポートの役割はより一層と大きくなってきていると感じます。コロナ禍の中では、感染予防の観点から活動に制約がかかることも多いと思えますが、今後の皆様の益々のご活躍とご発展を期待しています。

上豊田さくら乳腺クリニック 院長 大西 桜

がんのピアサポート 楽みかわがこのたび 10 周年を迎えられたとのこと、心よりお祝い申し上げます。楽みかわは豊田市を中心としたエリアでがん患者様のサポートにご尽力を続けておられます。代表の川田祐子さんは地域のがん患者様の支援をしていくことに非常に大きな使命感を持っておられる方で、上豊田さくら乳腺クリニックの開設時にも適切なアドバイスをたくさんいただき、大変感謝しております。常に不安と向き合っているがん患者様、そしてそのご家族にとって、実際のがんを経験したピアサポーターにその悩みを相談することができる「楽みかわ」の存在はなくてはならないものです。今回 10 周年記念の講演会で講演をさせていただくという機会をいただき、大変光栄に感じております。第 2 部の楽器と歌のコンサートもとても楽しみです。これからも楽みかわにエールを送り続けます。末永いご活躍を期待しております。

古根村 進然

この度は設立 10 周年を迎えられましたこと、誠にありがとうございます。当初から変わらず、無料相談会や講演会などの活動を続けられていることに深く感銘を致しております。私は約 10 年前、取材を通じて皆様の活動に触れましたが、医師の気付かない体の異変を川田さん自らが察知したという経験談はとても印象的で、今も記憶に残っています。私自身、日ごろの体の変化に気を配ることや、健診やセカンドオピニオンの重要性を再認識するきっかけにもなりました。がん治療など闘病経験のある皆様の活動は、悩みを抱えるがん患者の方々やご家族の大きな支えになると思っております。今後の益々のご活躍、紙面などを通じて楽しみにしております。

開催にあたり、以下の感染拡大防止へのご協力をお願いいたします。

- ・会場内ではマスクの着用をお願いします。
- ・必要以外の会話、大きな声での会話はお控えください。